

平成30年 第2回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

平成30年 第2回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成30年2月21日（水）13：40～15：40

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

二見教育長、松野代表教育委員、江草委員、畠山委員、柳田委員

【事務局】

小泉教育局長

（企画総務課）本村課長、山本補佐、鍋島主幹、久保係長、
佐藤主査、田中主査、黒田主任主事、三角主事

（学校施設課）佐土課長、大住補佐

（学校教育課）松竹課長、田口補佐、黒木補佐

（教育情報研修センター）荒武所長、平山次長

（生涯学習課）染矢課長、矢野補佐

（保健給食課）横山課長、和田補佐

（文化財課）羽木本課長、小窪補佐

4 議 案

| 番 号 | 件 名 | 説 明 者 |
|-------|----------------------------------|-------------|
| 議案第1号 | 平成30年度一般会計予算案（教育委員会関係分）の原案について | 教育局長 各課長 |
| 議案第2号 | 平成29年度一般会計補正予算案（教育委員会関係分）の原案について | 教育局長 各課長 |
| 議案第3号 | 第二次宮崎市教育ビジョン（宮崎市教育振興基本計画）について | 企画総務課長 |

5 報 告

| 番 号 | 件 名 | 説 明 者 |
|-------|---|--------|
| 報告第3号 | 平成29年度第7回宮崎市地方創生推進本部会議、第7回宮崎市総合計画策定会議及び平成29年度第8回宮崎市地方創生推進本部会議、第8回宮崎市総合計画策定会議の報告について | 教育局長 |
| 報告第4号 | 平成29年度第3回宮崎市行政改革推進本部会議の報告について | 教育局長 |
| 報告第5号 | 平成29年度宮崎市特別支援教育就学相談委員会（答申及びまとめ）の報告について | 学校教育課長 |
| 報告第6号 | 平成29年度第1回宮崎市文化財審議会の報告について | 文化財課長 |
| 報告第7号 | 臨時代理の報告について | 学校教育課長 |
| 報告第8号 | 専決処分の報告について | 保健給食課長 |

| | |
|----------|---|
| 二見教育長 | 定刻になりましたので、ただ今から、第2回教育委員会定例会を開会いたします。傍聴者はありません。会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私二見と、江草教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。 |
| 委員 | (異議なし) |
| 二見教育長 | それでは、会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。 |
| | <p>(1) 教育長報告です。2月1日(木)～2日(金)に開催されました「九州都市教育長協議会第2回理事会・意見交換会、九州都市教育長協議会文教施設視察研修」について、報告いたします。2ページをご覧ください。各県の理事が集まり、理事会を開催いたしました。8年ぶりの宮崎市での開催であり、中身については、平成30年度の役員選出という非常に大きな協議事項がありました。現在、私が九州の会長を務めておりますが、平成30年度からの会長は佐賀市の教育長が選出されました。あいにくの雪で佐賀、大分からの出席予定者が欠席という状況でありましたが、会は成立し、新たな会長を選出したところでありました。</p> <p>次に、2月19日(月)に開催されました「宮崎縣市町村教育長連絡協議会第3回支部長会、県教育委員会との意見交換会」について、報告いたします。3ページをご覧ください。県内の教育長の支部長会ということで開催いたしました。テーマは、概要に書いてありますように平成30年度の総会についてでございます。それから県の教育委員会の11の課・室等の課長から来年度の方向性や市町村と連携して取り組む事業の説明があり、意見交換を行ったところでもあります。</p> <p>次に、(2) 委員報告でございます。2月5日(月)に開催されました「平成29年度全国市町村教育委員会連合会第2回副会長会議」について、出席されました松野代表教育委員から、報告をお願いいたします。</p> |
| 松野代表教育委員 | <p>それでは、4ページをご覧ください。</p> <p>本年度最後の副会長会議が東京で行われました。資料の1番下の部分にありますように働き方改革に向けて文部科学省から学校現場の現状と課題等について講話がありました。この中で1番印象に残ったことが日本における教職員の授業以外の業務の多さが外国と比べると非常に突出しており、群を抜いて多いという話でした。部活動やいろんな調査・報告、そういったものが日本の教職員にとってかなり負担増になっているというようなことだったと思っております。また、会の最後に徳島県の連合会が本会を退会したいという申し出があっているということが話題になりました。この件について、私どもの連合会で承認する、しないという事案ではなく、その申し出があれば会として、それを認める以外ないということでした。ただ、副会長会議で他の理事が知らない中、徳島県が連合会を退会するということが通ったということになるとこれは問題ではないかということになりました。そのため平成30年度第1回目の会議が4月13日に東京でありますので、その中で徳島県から退会理由を口頭でよいので説明していただこうとなったところです。大会の賛否を問うわけではありませんが、そういった状況がございました。以上です。</p> |
| 二見教育長 | ありがとうございました。同じく委員報告でございます。2月 |

| | |
|--------|--|
| | <p>16日(金)に開催されました「平成29年度市町村教育委員研究協議会」について、出席されました柳田教育委員から報告をお願いいたします。</p> |
| 柳田教育委員 | <p>資料の5ページになります。資料にございますとおり、前半は行政説明、後半が第1分科会に出席いたしました。行政説明の中では新教育委員会制度と新学習指導要領、働き方改革の3つのテーマについて説明がありました。その働き方改革の説明にかなり時間を費やされましたが、その中で先ほど松野代表教育委員からお話がありました、日本型教育の特殊性、諸外国に比べて負担の大きさがあるとはいうものの、そのような日本型の教育の中身は変えずに、働き方改革は進めて行くという話がありました。具体的な手立てについても紹介はありましたが、現実を考えた時になかなか難しいのではないかという印象を受けました。分科会は、ワークショップ形式で8名くらいのグループに分かれての会でした。その中で私にとって貴重な経験だったことが、他所の市町村の教育委員がどのようなことをやっているのかということを知ることができ、非常に参考になりました。分科会の中でお聞きした話が、基本的なことですが、分からないことは聞くということでした。教育委員というと、私は、何となくこの1年構えてやってきましたが、やはり素人です。分科会では、元学校の先生だった教育委員の方もいらっしゃいましたが、学校の中のことは自分は分かっている行政に関することは素人であって、分からないことはどんどん聞かないといけない、聞くことがある意味教育委員の仕事だということ意識してやっているというお話をお聞きし、非常に参考になったところです。以上です。</p> |
| 二見教育長 | <p>ありがとうございます。1ページにお戻りください。次に、(3)教育局長報告でございますがこちらは議事の中でご報告いただきます。次に、(4)各課行事報告等でございますが、記載のとおりでございます。①学校教育課、④文化財課の網掛けでお示ししている項目につきましては、議事の報告の中でご報告させていただきます。以上で行事報告等は終了ですが、お気づきになった点やこれからの課題、また感想がありましたら、お願いいたします。</p> |
| 委員 | なし。 |
| 二見教育長 | <p>ないようでしたら、会次第「4 議事」に入らせていただきます。6ページをご覧ください。本日、議案が3件でございます。それでは、議案第1号「平成30年度一般会計予算案(教育委員会関係分)の原案について」及び、議案第2号「平成29年度一般会計補正予算案(教育委員会関係分)の原案について」、一括して事務局から説明をお願いします。</p> |
| 小泉教育局長 | <p>私から、教育委員会の平成30年度当初予算と平成29年度3月補正予算の概要について、資料を使ってご説明させていただきます。それでは、8ページ、議案第1号別紙をご覧ください。平成30年度歳出予算総括表でございます。教育委員会の平成30年度当初予算額は、64億6,050万2千円を計上しており、前年度と比較すると2,177万8千円、率にして0.3%の増となっております。右側に、主な事業を課ごとに記載しておりますので、それに沿って簡単に説明いたします。はじめに、企画総務課をご覧ください。平成30年度当初予算額は、前年度と比較して3.0%の増となっております。主な要因は、「小学校管理運営費」や「中学校管</p> |

理運営費」の事業費の増によるものでございます。次に、学校施設課ですが、前年度と比較して14.8%の減となっております。主な要因は、「小学校屋内運動場大規模改造事業」の事業費の減によるものでございます。次に、学校教育課ですが、前年度と比較して3.8%の増となっております。主な要因は、「小学校教育振興就学援助事業」や「中学校教育振興就学援助事業」の事業費の増によるものでございます。次に、教育情報研修センターです。前年度と比較し、20.7%の減となっており大幅な減が見てとれます。主な要因は、「小中学校コンピュータ推進事業」の事業費の減によるものでございます。次に、生涯学習課です。前年度と比較して0.8%の増となっております。主な要因は、「科学技術館防災設備等更新事業」の終了に伴い当該事業費が減になったものの「児童クラブ運営事業」の事業費が増になったことによるものでございます。次に、保健給食課です。前年度と比較して9.3%の増となっております。主な要因は、「学校給食食材加工等業務委託事業」や「学校給食施設設備維持管理事業」の事業費の増によるものでございます。最後に文化財課です。前年度と比較して10.9%の増となっております。主な要因は、「本野原遺跡保存整備事業」の事業費は減になったものの、いろいろな発掘事業を委託しておりまして、「受託発掘調査事業」の事業費が増になったことによるものでございます。歳出予算総括表の説明は、以上でございます。

続きまして、当初予算の歳入について概要をご説明いたします。次のページ「平成30年度歳入歳出予算案」の歳入をお開きください。表の一番下にあります、歳入合計をご覧ください。平成30年度の歳入合計は14億9,129万8千円を計上しております。前年度と比較し、1億9,006万2千円の減となっております。主なものをご説明いたしますと、一番下の方「90款 市債」をご覧ください。市債全体では、3億7,780万円を計上しております。前年度と比較し、2億6,500万円の減となっております。これは、主に小学校建設費関係の事業費の減に伴い、充当する市債額を減額したことによるものでございます。当初予算の歳入に関する説明は、以上でございます。次に、6ページをお開きください。当初予算の歳出を科目（款項目）ごとにまとめた資料でございますが、内訳、仕分けの仕方を変えたというように考えていただければと思います。この詳しい内容については、後ほど各課から説明させていただきます。

42ページをお開きください。続きまして、平成29年度3月補正予算案についてご説明いたします。歳出についてご説明いたします。補正額が2億91万円の増額、累計予算額は、67億6,722万2千円となっております。主なものをご説明いたしますと、まず、上から1段目の「20款 民生費」をご覧ください。「15項 児童福祉費」の「10目 児童福祉総務費」の補正額が1,080万円の増額となっておりますが、これは実績見込みに伴う「児童クラブ運営事業」の増などによるものでございます。次に、上から2段目の「55款 教育費」をご覧ください。1億9,011万円の増額となっております。まず、「10項 教育総務費」をご覧ください。補正額は、397万8千円の増額でございます。このうち「10目 教育委員会費」が486万4千円の増額となっておりますが、これは「教育振興基金積立事業」の増などによるものでございます。次に、「15

| | |
|-----------------|---|
| | <p>項 小学校費」をご覧ください。補正額は、2億4,115万1千円の増額でございます。このうち「20目 学校建設費」が1億6,779万5千円の増額となっておりますが、これは国の平成29年度一般会計補正予算（第1号）によります「瓜生野小学校屋内運動場大規模改造事業」の増などによるものでございます。次に、「20項 中学校費」をご覧ください。補正額は、2,821万2千円の増額でございます。「10目 学校管理費」が3,263万1千円の増額となっておりますが、これは、「中学校管理運営費」や「中学校施設改善事業」の増などによるものでございます。次に、「30項 社会教育費」をご覧ください。6,990万8千円の減額でございます。このうち「35目 文化財費」が5,454万3千円の減額となっておりますが、これは「生目古墳群史跡公園整備事業」や「受託発掘調査事業」、また「補助対象発掘調査事業」の減などによるものでございます。次に、「35項 保健体育費」をご覧ください。補正額は、1,332万3千円の減額でございます。このうち「20目 学校給食費」が702万円の減額となっておりますが、これは「学校給食管理運営費」の減などによるものでございます。歳出補正予算の説明は以上でございます。</p> <p>歳入補正予算についてご説明いたします。41ページに戻りまして、表の一番下の歳入合計をご覧ください。補正前の予算額17億3,133万1千円に対しまして、補正額が889万8千円、累計予算額は17億4,022万9千円となっております。主なものをご説明いたしますと、「55款 国庫支出金」をご覧ください。「15項 国庫補助金」の「35目 教育費国庫補助金」が2,120万5千円の増額となっておりますが、これは右側、補正額の内訳の中ほどにあります「公立学校施設整備費負担金」が増額となっていること等によるものでございます。その他につきましては、決算見込み等に伴う補正でございます。ただ今説明いたしました平成30年度当初予算案と平成29年度3月補正予算案につきましては、今月26日に開会予定の3月議会に提案することといたしております。この後は、個別の事業等の状況について各課長から説明させていただきます。</p> |
| <p>本村企画総務課長</p> | <p>企画総務課でございます。資料は12ページをお開きください。平成30年度当初予算案の概要について、主なものをご説明いたします。平成29年度の3月補正はございません。まず、12ページの上から2番目でございます。「たちあがろう 未来を担う中学生交流事業」300万円でございます。この事業は、東日本大震災の被災地を継続して応援するとともに、未来を担う人材の育成や防災意識の醸成を図るために実施をしているものでございます。具体的な事業内容としましては、中学生の交流事業と防災教育セミナー開催の2本立てで実施しようと考えております。交流事業につきましては、平成30年度は宮崎市から宮城県山元町へ交流団15名程度を派遣し、中学生同士の交流を図ります。また、防災教育セミナーにつきましては、本市における防災意識の醸成を図るため、被災地域から講師をお招きして、防災教育に関するセミナーを開催する予定でございます。次に、その下の「小・中学校管理運営費」7億7,800万円でございます。これは、小中学校73校の学校運営に必要な消耗品費、備品購入費、事務機器のリース料、光熱水費のほか、学校環境の維持に係る廃棄物処理等の委託料、手数料などの経費で</p> |

| | |
|-----------------|---|
| | <p>ございます。それから、一番下の「小・中学校教育教材用具等購入事業」1億1,590万円でございます。これは、学習指導要領に基づいた教育課程を実施するために必要な教材等を整備し、学習環境の充実を図るための経費でございます。また、児童・生徒の教育環境の充実を図るため、老朽化した机・椅子の更新などを計画的に行いたいと考えております。企画総務課の説明は、以上でございます。</p> |
| <p>佐土学校施設課長</p> | <p>引続き、学校施設課の当初予算案の概要について説明をいたします。資料は14ページから16ページになります。当初予算案の特徴といたしましては、「学校施設における長寿命化計画策定事業」、各学校の「空気調和設備更新事業」の拡大など、長寿命化対策及び教育環境の改善に関する事業の充実を図ったところでございます。それでは、当初予算案の概要について、主なものをご説明いたします。14ページをお開きください。まず、「学校施設における長寿命化計画策定事業」として2,265万円でございます。学校施設における長寿命化計画はこれまでは改築中心の考え方でありましたが、それを長寿命化への転換を図って中長期的に維持管理等に係るコストの縮減を図る事業でございます。平成25年11月に国がインフラ長寿命化基本計画を策定し、その行動計画として、宮崎市公共施設等総合管理計画を平成29年2月に策定しております。今回の事業はその行動計画に基づく個別施設の計画策定を行うものでございます。次に、上から3番目、「小・中学校トイレ改修事業」として1億4,162万6千円でございます。これは老朽化した校舎内のトイレにおいて、内装改修、配管や衛生器具の取替等の抜本的な改修を行うことにより衛生環境の改善を図る事業でございます。次に下から2番目「小・中学校空気調和設備更新事業」として6,820万円を計上しております。老朽化した空調設備の更新を行います。続きまして15ページです。上から2番目「小・中学校屋内運動場非構造部材耐震化事業」として2,730万円でございます。屋内運動場の照明器具等の落下防止対策工事を行い、安全な教育環境の推進を図って参りたいと考えております。次にその下、新規事業といたしまして「小学校屋内運動場アリーナ床等改修事業」430万円でございます。屋内運動場の床材等を改修し、児童や施設利用者の安全性を確保いたします。次に、16ページをご覧ください。同じく新規事業といたしまして、「中学校急傾斜地崩壊対策事業」2,000万円でございます。土砂災害特別警戒区域に指定が予定されている高岡中学校南側法面の一部を補強し、地域住民等の安全性を確保いたします。</p> <p>平成30年度当初予算の概要についての説明は以上でございます。</p> <p>続きまして、平成29年度3月補正予算案の説明いたします。資料の44ページをご覧ください。1番上の段でございます。国の平成29年度公立学校施設整備費国庫負担金の第4次認定に伴う、「住吉小学校校舎増築事業」9,238万8千円でございます。児童数の増加が見込まれる住吉小学校において、児童の教育環境に支障をきたさないよう、他の同規模校と同等の、少人数教室2クラスを整備します。次にその下でございます。「瓜生野小学校屋内運動場大規模改造事業（H29国補正）」1億円でございます。これは、国の平成29年度補正予算を活用した補助金交付対象事業の募集に伴い、平成30年度当初予算として計画しておりました事業の一</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| | <p>部を前倒しで行うこととしたものでございます。老朽化した屋内運動場の床、壁、天井並びに外壁や屋根の改修など、抜本的な整備を行い、機能維持や施設の長寿命化を図ることで、児童にとって安心・安全な教育環境を提供するものでございます。学校施設課の説明は、以上でございます。</p> |
| <p>松竹学校教育課長</p> | <p>学校教育課でございます。資料は、17ページにお戻り下さい。17ページから22ページまで、計31事業を当初予算で計上しております。本課の当初予算は、昨年度同様、学校への人的派遣に関する予算、就学のための保護者への経済的支援を行う扶助費が大きなウエイトを占めております。なお、当初予算案の特徴としましては、大きく次の3点でございます。1点目は、昨年度発生しました中学生の自殺事案を踏まえ、早い段階で子どもたちのSOSに気付くことにつながるような事業を拡大したこと。2点目は、小学校において新たな教科となる道徳に関する教科書等の購入のための予算を確保したこと。3点目は、就学援助事業において、新入学用品費を入学前に支給できるようにしたことの3点であります。それでは、主な事業につきまして説明いたします。18ページをご覧ください。まず、上から3段目、「小学校教師用教科書指導書改訂事業」2,217万8千円でございます。この事業は、教師用の教科書と指導書を購入、配付し、指導の充実を図るものでございます。平成30年度から新たに加わる、「道徳科」の教科書と指導書、また、学級数増による不足等で必要な他の教科分の教科書・指導書を配付いたします。続きまして20ページ、上から2段目、「小中学校スクールカウンセリング等事業」898万7千円でございます。この事業は、児童生徒や保護者、学校関係者等に対して、不登校やいじめ等に関するカウンセリングを行うもので、次年度は、生徒にきめ細かに対応する体制をさらに強化するために、スクールアシスタントを、これまでの中学校10校から中学校20校に増やして配置する予定でございます。次に、その下、「教育振興就学援助事業」5億3,300万円でございます。この事業は、経済的理由によって就学困難な児童・生徒に対し、義務教育の円滑な実施を図るため、学用品費や給食費等を援助するものでございます。その中で、先ほども申し上げましたが、少しでも保護者の負担軽減を図るために、新入学用品費については、支給時期を見直し、平成30年4月に新中学1年生となる生徒、平成31年4月に新小学1年生となる児童に対し、入学前に支給をする計画でございます。最後に22ページをご覧ください。下から2段目、「あたたかな人間関係づくりサポート事業」318万円、新規事業で、第5次総合計画の戦略プロジェクトに位置付けられている事業でございます。学力向上や生徒指導など、子ども達の学校生活の基盤である学級の状況に着目し、学級集団の状態や一人一人の満足感についてアンケートを実施するものです。具体的には、小学校5年生と中学校1年生を対象に、「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート(hyper-QU)」を実施し、あたたかな人間関係づくりや居心地の良い学級づくりを支援するとともに、不登校になる可能性が高い児童生徒の早期発見やいじめの発生・深刻化の防止に生かすことをねらいとしております。学校教育課からは、以上でございます。</p> |
| <p>荒武教育情報研修センター所長</p> | <p>教育情報研修センターの、平成30年度当初予算案の主なものをご説明いたします。23ページをご覧ください。まず、「教職員研修</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>運営事業」240万円です。教職員の資質向上等を図るための研修、また、教職員の自己啓発に取り組むようにするための研究論文の募集、審査等にかかる経費でございます。平成30年度は3年に1度開催します教育講演会を予定しておりますので、予算が昨年度より増加しております。次に、「情報教育推進事業」5,430万円です。学校における情報化の充実を図るため、小中学校への情報教育アドバイザーの派遣や教育ネットワーク管理にかかる経費でございます。「小中学校コンピューター推進事業」8,210万円です。各小中学校に配付しております教育用パソコンやプロジェクターのリース料、ネットワーク回線使用料等にかかる経費でございます。昨年度と比較して大幅に減となっておりますのは、情報教育の機器の再リース等により、経費を抑えたこと等によるものでございます。新規事業となります「小中学校外国語教育推進事業」9,904万6千円でございます。平成32年度の小学校、平成33年度の中学校の新学習指導要領完全実施に伴い、小学校5、6年生に外国語教科が新設されることを受け、外国語指導助手、いわゆるALTを中学校とその校区内の小学校5、6年生の授業に派遣するとともに、小学校1年生から4年生においては、外国語活動をアシスタント、いわゆるFLAAを派遣するものです。ALTの人数につきましては、現在の10人から15人体制とすることで更なる英語教育の充実を図ります。ALTの派遣時期は8月になりますので、8月から人数が増えることとなります。加えて、地域に根ざした外国語教材の開発や宮崎の宝を活用したイベントの実施等、豊かな国際感覚をもった児童生徒の育成を図っていくためにかかる費用でございます。説明は以上でございます。</p> |
| <p>染矢生涯学習課長</p> | <p>生涯学習課です。資料は24ページからになります。はじめに、一番上の段の、「児童クラブの運営事業」5億8,204万円6千円でございます。平成29年度と比較すると、6,768万6千円の増額となっております。45小学校区に児童クラブを開設しておりますが、平成29年度当初予定しておりました、西池、生目、赤江、広瀬、そして年度途中に追加した檜北の5カ所6教室を整備したことによる運営費の増と児童クラブ支援員の処遇改善に係る人件費の増が主な理由でございます。次に、2段目の「児童クラブ施設整備事業」2,977万2千円でございます。昨年度に引き続き、待機児童数削減のため、掲載のとおり大淀、宮崎南、住吉、池内の4つの小学校の少人数教室等を活用し141名分の定員枠を確保することにしております。その下の新規事業「児童クラブ利用者管理システム改修事業」899万2千円です。児童クラブは、月曜日から土曜日までの開設ですが、1週間の中で、個人それぞれの利用状況を見ると、曜日によっては、利用していない日もあり、全ての児童クラブで、各曜日150名程度利用されていない状況があります。そのため、待機児童が週1回でも利用できるように、曜日利用のためのシステム改修等により、待機児童数削減を図るものでございます。次に、26ページをお開きください。一番下の新規事業「青少年育成センター体育館特定天井改修等事業」170万円でございます。青少年育成センター体育館は、昭和45年8月に建築した建物ですが、平成23年に発生した東日本大震災において、建築物の天井脱落が多く発生したことから、被害を防止するため、平成26年4月に建築基準法施行令の一部改正が施行されました。平成28</p> |

| | |
|----------|--|
| | <p>年6月に国が技術的助言として、天井改修を推奨しており、一昨年4月に熊本地震も発生したことから、改修に着手するものでございます。スケジュールにつきましては、来年度、設計を行い、平成31年度に改修工事を実施する予定でございます。</p> <p>続きまして、平成29年度3月補正予算案の説明いたします。44ページをお開きください。3段目の「児童クラブ運営事業」1,080万円の増額でございます。「児童クラブ運営事業」につきましては、当初予算で、児童クラブの定員に合わせた運営費を見込んでおりましたが、各クラブの利用者の実績に応じた委託料の実績見込による減額がありましたが、児童クラブ支援員の処遇改善に伴う人件費の増があったことによるものでございます。処遇改善の内容につきましては、国が昨年夏に、児童クラブに従事する支援員の勤続年数や研修実績等に応じた処遇改善に要する費用の補助を提示し、要件として、県が実施しております研修の受講終了者で、勤続年数に応じた人件費の加算を行うという内容でございます。加算額は記載しておりますように、経験年数5年未満が年額12万4千円、5年以上10年未満が年額24万8千円、10年以上が年額37万2千円が加算されるもので、平成29年4月に遡及して実施します。次に、その下の債務負担行為の補正です。児童クラブ運営業務委託1,990万8千円は、先ほど説明しました、児童クラブの教室の増加と放課後児童支援員の処遇改善に係る人件費の増により、債務負担の限度額を増額するものでございます。説明は、以上でございます。</p> |
| 横山保健給食課長 | <p>保健給食課です。31ページにお戻りください。平成30年度当初予算案の概要について、主なものをご説明いたします。31ページ、まず、1番目の、「学校保健安全事業」の1億3,400万円でございますが、この事業は、学校保健安全法に基づき、児童生徒の各種健康診断や学校環境衛生検査に要する経費でございます。なお、学校保健安全法に基づく健康診断事業として、1つ下の就学時健康診断、さらに2つ下の教職員健康診断をそれぞれ実施することとしております。次に32ページをお開きください。1番上の「思春期健康教育推進事業」155万4千円は新規事業でございます。この事業は、平成29年度まで「思春期健康教育講師派遣事業」として、県助産師会に委託し実施しておりましたが、今回、庁内で事業の整理を行い、助産師に加え、医師等についても小中学校からの希望によって派遣できるよう事業を再構築しました。思春期である児童生徒に対し、命の大切さや性に関する正しい知識の啓発、生活習慣等についての教育をさらに進めていきたいと考えております。同じく32ページ、下から2番目です。「単独調理場空調設備整備事業」2,642万2千円でございます。この事業は、調理場の衛生管理や作業環境を改善し、より安全安心な学校給食を提供するための空調設備整備に要する経費でございます。平成30年度は西池小学校・江平小学校・赤江小学校・大淀小学校の4校を整備する予定としております。33ページ、上から2番目の「学校給食食材加工等業務委託事業」5億24万円でございます。平成30年度は新たに宮崎西小学校、清武学校給食センターを民間委託することとしております。その結果、単独調理場45校のうち、小学校25校、中学校10校の合わせて35校、また、共同調理場5箇所のうち、2箇所が民間委託となります。34ページをお開きください。</p> |

| | |
|----------|--|
| | <p>下から2番目、新規事業になります。「学校給食センター配送校配膳室空調設備整備事業」800万円は新規事業でございます。この事業は、夏場の食中毒予防のため、学校給食センター配送校の配膳室の空調設備整備に要する経費でございます。保健給食課の平成30年度当初予算の概要についての説明は以上でございます。</p> |
| 羽木本文化財課長 | <p>文化財課でございます。35ページをご覧ください。1番上の「文化財保護調査管理費」、1,630万円でございます。本事業は、市内に所在する国指定23件、県指定36件、市指定92件の文化財について、その適切な保護管理・活用を図るため、草刈等の維持管理を地元保存会等に委託するものです。また、文化財審議会を開催するなど、文化財の新規指定を目指した調査を進めるものでございます。下から2段目、「生目古墳群世界文化遺産登録推進事業」488万2千円でございます。国指定史跡であります「生目古墳群」につきまして、世界文化遺産登録を目標に、県や関係自治体と連携した勉強会や視察を行います。また、生目古墳群をテーマとしたイベントの開催や、出土した遺物の写真や調査結果をまとめた図録を新たに作成いたします。また今年度作成しました、生目古墳群と世界遺産を紹介する小学校6年生向けのハンドブックを平成30年度作成し配付し、更なる生目古墳群の周知を図ります。その下の、「生目の杜遊古館管理運営事業」、3,879万円でございます。生目の杜遊古館は埋蔵文化財センターと体験学習館で構成されております。埋蔵文化財センターでは、生目古墳群などの考古資料の展示、体験学習館では、宿泊研修や勾玉づくり等の体験学習を行っております。37ページをご覧ください。上から2段目、「宮崎城跡保存整備事業」904万円でございます。戦国時代の宮崎平野を代表する山城である未指定文化財「宮崎城跡」を、国指定史跡の指定を目指す事業でございます。平成30年度については、引き続き発掘調査を行うほか、文化財指定に向けた測量や図面作成等を行います。その下、「歴史資料館指定管理料」につきましては、みやざき歴史文化館・佐土原歴史資料館・天ヶ城歴史民俗資料館の歴史資料館3館を宮崎文化振興協会に指定管理するものです。その下、「安井息軒記念館指定管理料」は、安井息軒記念館を安井息軒顕彰会に指定管理するものです。その下、「安井息軒旧宅保存修理事業」、1,372万円でございます。国指定史跡「安井息軒旧宅」につきましては、平成28年度の台風16号により屋根の一部が吹き飛ばすなどの毀損が生じているため、平成30、31年度の2年間で、茅葺屋根の葺き替えや毀損箇所の保存修理工事を行います。文化財課関連の説明は、以上でございます。</p> |
| 小泉教育局長 | <p>議案第1号当日配布資料をご覧ください。今回、宮崎市の全体的な一般会計の当初予算が1576億4千万円であり、市の予算としては昨年度と比較すると0.4%マイナスになっております。教育委員会の平成30年度の当初予算の内訳としては0.3%のプラスです。資料に記載のありますように、平成29年度3月補正に前倒した事業がございます。金額としては、1億9,238万8千円、内容は、住吉小と瓜生野小、それぞれの校舎と体育館の工事です。これらの事業の予算は、本来平成30年度当初予算に計上するものでしたが、国の補正・補助を受けるため、前倒したということですので。本来、平成30年度当初予算に計上するはずであったこの部分を入れますと、平成29年度当初予算と比較し、3.3%の伸び率とな</p> |

| | |
|----------|--|
| | <p>っております。また、平成29年度の当初予算は、平成30年度と異なり、骨格予算ではありませんでした。それと比較しても平成30年度当初予算が、3.3%伸びています。今回、お示ししている64億6千万円の予算と6月には補正予算がございますので、実際の昨年度からの伸び率は、約4%であると思われま。そのため、教育委員会の予算としては昨年度と比較すると減額はございません。ただ、教育費という款で見ると、教育委員会だけではなく地域振興部など様々な部が所管していますので、それらを足し合わせた場合、今年の当初予算案で2.4%のマイナスとなっております。</p> |
| 二見教育長 | <p>ただいま説明のありました議案第1号及び議案第2号について、ご質問はございませんか。</p> |
| 松野代表教育委員 | <p>20ページの下から2段目「教育振興就学援助事業」でこれが予算的には昨年度より増えています。これは経済的理由によって援助しなければいけない児童生徒数はやはり増えている状況にあるのでしょうか。</p> |
| 松竹学校教育課長 | <p>お訊ねのとおり、年々少しずつですが援助を必要とされる、申請をされる件数は増えております。ただ、予算が増額になっているもうひとつの大きな理由は、新入学用品費を前倒しでの事前支給でございます。本年度に限り、年に2回、次年度の中学校1年生の分まで、今年度の小学校6年生の時点で支給しますので、そこが重なっていることによる予算の増額分も計上されております。以上です。</p> |
| 二見教育長 | <p>事業費に「清武」というのが出てきます。合併して相当経ちますよが、いつまでこのように清武分は取り出し、書かないといけないのでしょうか。</p> |
| 小泉局長 | <p>合併して10年程度はこの流れが続きます。合併をした際にいろいろな協議がありましたので、大幅な減と見てとれますが、比較等をするために「清武」分と仕分けています。</p> |
| 柳田教育委員 | <p>予算を見ていて、給食というものは、お金がかかるものなどいろいろ思ったところです。基本的なところで教えていただきたいのですが、給食費は、保護者から集めると思いますが、この給食費というのは歳入の中ではどこに入っているのでしょうか。ここにある項目から見つけることができませんでした。</p> |
| 横山保健給食課長 | <p>各学校が口座引き落としや徴収で集めております食材費は、直接保護者が納めていらっしゃると思いますので、いわゆる私会計という位置づけになっております。そのため、こちらの歳出歳入予算には計上していない経費となっております。</p> |
| 柳田教育委員 | <p>学校で集めたお金は、そこからどこに支払われるのですか。</p> |
| 横山保健給食課長 | <p>単独調理場、学校で調理をしている学校につきましてはその学校の中で給食の食材費に充てられることとなります。直接調理はしないで給食センターから配送をされる学校につきましては、給食センターが学校給食会という任意組織を作っておりますので、そちらにお金を各学校が振り込むという形で運営をしております。全て食材分のご負担ということで、保護者から徴収し、運営をしているという形態になります。保護者から徴収しているのは、あくまでも食材費のみであり、施設の修繕とかその他の経費は全て市が負担しております。人件費を含めると10億円になり、食材費は15億でございます。</p> |
| 小泉局長 | <p>そのため、公費で給食を提供しようと思えば、税金から15億が学校給食費に加算されるということです。この年間15億円は、現</p> |

| | |
|----------------|--|
| | <p>在、保護者の方に負担していただいています。それにプラスし、市は、今言ったような施設の修繕やその他の経費は全て負担しておりますので、現在の倍の金額である500円くらいの給食になってしまうということです。</p> |
| 二見教育長 | <p>給食費の公会計化や無償化など様々な話がありますが、食材費は、市が負担することになると毎年15億円ずつ必要です。公会計にすると、保護者が直接市に振り込むことになりしますので、未納が多くなると言われています。実際、導入したところも未納が非常に多くなるといった状況です。集める努力を学校、保護者の皆さんが行ってくださっているから非常に高い収納率となっています。</p> |
| 横山保健給食課長 | <p>ここ数年宮崎市の給食費の収納率は99%以上で推移しています。補足でございますが、給食は1食あたり小学校が234円、中学校が280円です。</p> |
| 二見教育長 | <p>他にございませんでしょうか。</p> |
| 畠山教育委員 | <p>教育情報研修センターのタブレット導入事業は、小中学校に配付されているタブレットについてではないということでしょうか。</p> |
| 荒武教育情報研修センター所長 | <p>このタブレット導入事業につきましては、現在タブレット機器をどうやって活用したらいいかということの研究するために、25台のタブレットを導入し、使い方を研究しているという状況です。小中学校に現在置いてあるパソコンなどについてですが、コンピューター室にはデスクトップ型のものが各学校約40台ございます。それから教職員数のノート型パソコンも配付しております。ただ、今申し上げたコンピューター室のパソコン、教職員用のパソコンについては、小中学校コンピューター推進事業で管理運営を行っているところです。</p> |
| 畠山教育委員 | <p>児童生徒が使うタブレットに関してはまだ検証中ということですね。読み書きが苦手な子どもたちがタブレットを使うと非常に効果的だという情報が出ていたので、併せて、ぜひ検証していただけるとありがたいと思ったところでした。</p> |
| 二見教育長 | <p>タブレットはリースでしたか。</p> |
| 荒武教育情報研修センター所長 | <p>はい、リースです。参考までに申し上げますと、タブレットについては通常学級で使うようなタブレットを20台、そして今言われた特別支援学級用を5台準備して、こういった形で活用したらいいかについて検証していく予定です。</p> |
| 二見教育長 | <p>次に議案第3号「第二次宮崎市教育ビジョン（宮崎市教育振興基本計画）について」でございます。事務局から説明をお願いします。</p> |
| 本村企画総務課長 | <p>議案第3号「第二次宮崎市教育ビジョン（宮崎市教育振興基本計画）について」でございます。資料の45ページでございます。</p> <p>現計画の計画期間が終了することに伴いまして教育基本法に基づき、新たな計画を策定するものでございます。原案の策定にあたりましては、1月の定例教育委員会でパブリックコメントの結果も報告させていただいております。そして、ご意見の一覧も送付をさせていただきました。今回お手元に関係資料といたしまして議案第3号別紙1、2、3をお配りしております。事前に目を通していただいたところでございます。まず、議案第3号別紙1ですが、分類の欄を見ていただきますと、ここに教育委員と表記がしてある部分につきましては、教育委員さんから事前にいただいたご意見、こういうものを踏まえて、今回策定を行ったというところでございます。そして今後のスケジュールでございますけれども、別紙2が原</p> |

| | |
|--------|---|
| | 案でございます。この原案を別紙3-1(3)本日の最終審議を経て、(4)市長決裁後、平成30年4月1日からの施行に向けた作業を進めていきたいと考えております。2にありますとおり、パブリックコメントの意見に対する回答の公表につきましては、事務局で回答案を作成後、3月末に市のホームページ等で公表する予定でございます。そして教育ビジョンの公表については3にございまして、3月末を目処に市のホームページに公表するとともに、冊子や概要版の配付を行いたいと考えております。議会にも提供する予定でございます。本日、最終案といたしましてご審議いただきまして、そのご意見を踏まえたものを完成版としていきたいと考えております。ご審議どうぞよろしくお願いたします。 |
| 二見教育長 | いよいよ最終段階ということで原案のお示しをしました。ただいま説明のありました、議案第3号について、ご質問はございませんか。 |
| 委員 | なし。 |
| 二見教育長 | それぞれ、3つ議案をお示しさせていただきましたので、1号ずつ確認していきたいと思っております。まず、議案第1号「平成30年度一般会計予算案(教育委員会関係分)の原案について」、ご承認いただけますでしょうか。 |
| 委員 | (異議なし) |
| 二見教育長 | ご承認ありがとうございます。 |
| | 次に、議案第2号「平成29年度一般会計補正予算案(教育委員会関係分)の原案について」、ご承認いただけますでしょうか。 |
| 委員 | (異議なし) |
| 二見教育長 | 議案第3号「第二次宮崎市教育ビジョン(宮崎市教育振興基本計画)について」、ご承認いただけますでしょうか。 |
| 委員 | (異議なし) |
| 二見教育長 | ご承認ありがとうございます。以上で、議案は承認されました。次に、報告でございますが、報告に入る前に休憩を10分ほど取りたいと思っております。10分後、お集まりください。 |
| | それでは、皆さんお揃いになりましたので、再開させていただきます。46ページをお開きください。本日、報告が6件でございます。まず、報告第3号「平成29年度第7回宮崎市地方創生推進本部会議、第7回宮崎市総合計画策定会議及び平成29年度第8回宮崎市地方創生推進本部会議、第8回宮崎市総合計画策定会議の報告について」、事務局から説明をお願いします。 |
| 小泉教育局長 | 内容については48ページをご覧下さい。会議は、1月25日と2月7日に行われました。市長公約で「とことん住みやすく力強く発展する「まち」ということで教育委員会関係では、全25校にすべての中学校に外国語指導助手を配置します、とございました。そのため、今回、第五次宮崎市総合計画の前期基本計画の中にそのことについて文言を追加したところでございます。 |
| 二見教育長 | ただいま説明のありました、報告第3号について、ご質問はございませんか。 |
| 委員 | なし。 |
| 二見教育長 | 他に質問がないようでしたら、次に、報告第4号「平成29年度第3回宮崎市行政改革推進本部会議の報告について」、事務局から説明をお願いします。 |

| | |
|----------|--|
| 小泉教育局長 | 第3回宮崎市行政改革推進本部会議が2月5日に開催されまして、教育長にも出席をしていただきました。第8次宮崎市行財政改革大綱(素案)の説明がありました。これまでの行財政改革の取組、将来推計人口、公共施設等の維持管理の見通し、今後の財政見通し、庁舎機能の充実ということでお話しがありました。また、第7次行財政改革大綱(改訂版)が今年度で終了しますが、効果として54億1,280万円が、実績として報告されました。また来年度からは新たな行革大綱が始まりますが、教育委員会関係では、給食や児童クラブなどそういうものを個別の項目としてあげさせていただいております。 |
| 二見教育長 | ただいま説明のありました、報告第4号について、ご質問はございませんか。 |
| 委員 | なし。 |
| 二見教育長 | 他に質問がないようでしたら、次に、報告第5号「平成29年度宮崎市特別支援教育就学相談委員会(答申及びまとめ)の報告について」、事務局から説明をお願いします。 |
| 学校教育課長 | 報告第5号につきましては、52ページの別紙1にてご報告いたします。2月13日に宮崎市特別支援教育就学相談委員会委員のご出席をいただき、平成30年度小学校就学予定児童のうち就学相談希望者の就学に関して諸調査と保護者に対する教育相談を元に審議を行った結果の答申とまとめが行われました。概要の欄にありますように、就学相談を実施した215名中、特別支援学校への就学が適当であるという判断が31名、特別支援学級への就学が適当であるという判断が79名、通常の学級への就学が適当であるという判断が96名、附属小学校への就学や、市外への転出が9名でございました。報告は以上でございます。 |
| 二見教育長 | ただいま説明のありました報告第5号について、ご質問はございませんか。もちろん保護者の意向とは答申の方向と違うケースも当然あるわけですが、これから教育相談が始まるということでもあります。 次に、報告第6号「平成29年度第1回宮崎市文化財審議会の報告について」、事務局から説明をお願いします。 |
| 羽木本文化財課長 | 報告第6号「平成29年度第1回宮崎市文化財審議会の報告について」説明をいたします。資料は、54ページからになります。55ページをご覧ください。2月19日(月)生目の杜遊古館で平成29年度第1回宮崎市文化財審議会を開催いたしました。協議事項は3件ありまして、その3件の概要につきましては、机上に配付しております報告第6号をご覧ください。3つの協議事項ですが、1つ目の市指定文化財候補物件の大光寺文書については、佐土原町大光寺に残る古文書について平成9年度に行った基礎調査の説明を行い、市指定文化財に向けて協議を行いました。また、戦争遺跡の保存については文化財として取扱うことは出来ないだろうか。3つ目の破魔矢(はやま)祭について、皇宮神社に伝わる破魔矢(はやま)祭神事が非公開のため、現地調査に変わる調査方法があるかどうかについて協議をいただきました。報告事項につきましては、国重要文化財候補物件であります生目神社の神面と、先ほどの佐土原町にあります大光寺の仏像が国の重要文化財になる予定であることを報告し、平成29年度の文化財課事業についてご説明いたしました。説明は以上です。 |

| | |
|----------|---|
| 二見教育長 | ただいま説明のありました、報告第6号について、ご質問はございませんか。 |
| 委員 | なし。 |
| 二見教育長 | 他にないようでしたら、次に、報告第7号「臨時代理の報告について」、報告第8号「専決処分の報告について」でございます。これにつきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。 |
| 委員 | (異議なし) |
| 二見教育長 | それでは、ここで非公開を解除いたします。 |
| | 次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いいたします。 |
| 委員 | なし。 |
| 二見教育長 | ないようですので、会次第「5 その他」、「善行児童生徒表彰について」、事務局から説明をお願いします。 |
| 本村企画総務課長 | 資料は、お手元にお配りしております緑の冊子と、右上に資料善行児童生徒表彰と記載しております2つでございます。まず、「善行児童生徒表彰」でご説明いたします。1ページに要項を掲載しておりますけれども、第2条にその表彰の基準を規定しております。こちらに該当した、他の模範となる小中学生を表彰するものでございます。めくっていただきまして、2ページには被表彰者数を掲載しております。1番下の段にありますように本年度は個人が114人、団体が4団体の62人、合計で176人の表彰を行います。各学校の内訳については、3ページにありますとおり市立の小中学校73校以外にも、宮崎大学附属小・中学校、宮崎西高附属中学校、宮崎第一中学校、宮崎学園中学校からも推薦はいただいております。4、5ページでございます。先ほどの表彰基準のごとの推薦内訳を載せております。①保護者等を助けるなど、よい行いをした者が15件、②環境美化活動やボランティア活動等に積極的に参加するなど社会奉仕に努めたものが73件、③生徒会活動やクラブ活動、学校行事等を通じて後輩の指導や思いやり等望ましい人間関係の確立に努めたものが86件、④その他善行児童生徒として表彰に値することが認められる功績または行為のあったものが10件でございます。表彰式は、すでに各学校で始まっておりまして1月18日から3月16日にかけて、全校集会等の際に表彰を行っていただくことになっております。被表彰者に対しましては、教育委員会から表彰状と図書カード、記念写真をお送りしております。また、この資料の最後の6ページでございますとおり、長年に亘りこの表彰に一般財団法人椎屋恵進会様から記念品として、銅製の盾と電子辞書が全員に贈呈されることになっております。表彰者を個別にまとめたものが、この緑の冊子でございます。参考に見ただければと思います。説明は以上でございます。 |
| 二見教育長 | ただいまの説明に対して、ご質問はございませんか。他にないようでしたら、会次第「6 3月委員会について」、事務局から説明をお願いします。 |
| 本村企画総務課長 | 3月の委員会は、臨時会として、平成30年3月3日(土)、9時から10時まで教育委員会室において、お願いしたいと考えております。また、定例会として、平成30年3月22日(木)、13 |

| | |
|----------|---|
| | 時40分から15時まで教育委員会室において、お願いしたいと考えております。 |
| 二見教育長 | ただ今説明のありました日時に、委員会を開催いたしますので、よろしく願いいたします。 |
| 委員 | はい。 |
| 二見教育長 | 続きまして、「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。 |
| 本村企画総務課長 | (説 明) |
| 二見教育長 | 以上をもちまして、第2回定例会を終了させていただきます。 |